

ASAGOiNG

2018.12 no.10

Index

ASAGOiNG 2

朝来市の人と、まちと
ボンパン バンシェルメール
小谷正明さん

ACTiNG 4

朝来市で活動する
生野ルートダルジャン芸術祭
実行委員会

WORKiNG 5

朝来市で営む、働く
朝来市社会福祉協議会

OOKURAiNG 6

大蔵地域

YOU ARE THE FUTURE OF OUR TOWN!

TAKE FREE

ASAGOING

朝来市の人と、まちと

ボンパン パンシェルメール
小谷正明さん(和田山町)

いつも人を想いながら

経験という宝

和田山町高田生まれの小谷さん。高校卒業後に京都で暮らし始め、体を動かすことが得意だったことから、フィットネスやジムのインストラクターを養成する社会体育の専門学校へと進んだ。しかし、もともと食べる事が好きだった小谷さん、アルバイトでは居酒屋からあらゆる飲食店を経験し、初めての就職に選んだのはスポーツの道ではなく、なんと神戸にあるホテルのバーテンだった。1年ちょっとが経った頃、生活リズムなど違和感を感じ退職したが、ケーキ屋でのアルバイトや大型バイクで日本一周するなど“その時だからこそ出来ること”をしてきた20代前半だった。

パン屋という選択

「学歴もないし、手に職が必要や」と感じた小谷さん。司法書士の事務所に入り、司法書士を目指すことに決めた。日々の仕事に勉強に、必死に努めたが最終的に司法書士に合格することは出来なかった。当時は神戸にいたが、結婚という人生の節目もあり、和田山にUターン。新たな就職先は、ある会社のベーカリー部門だった。そこで店長まで務めるも、いろいろな出来事が連続で起こり、その結果、神戸に転勤。ある時、「子どもが大学で家を離れるし、これはもう帰ろう」と退職を決めた。「和田山に帰って仕事をしようと思ったんですけどね、思うようなところがなかったんですよ。それで自分で店をしよう。」42歳の時だった。会社を辞めてからは3ヶ月間、東京にあるプロが行くパンの専門学校にいった。「歳もあるし、色んな場所で修行する時間は残されてなかった。だからお金を払って学ぶ事を選びました。」

「お金は残さんけど、記憶に残る店でありたい」

東京での修行後、一時はなにもする気が起きなくなった。それもそのはず、その3ヶ月間、食べるものも、学校も、なにもかも“パン”づくしの日々だったからだ。それから2年後、小谷さんのパン屋「BONPAIN VENT CIEL MER」は遂にオープンした。今年で丸8年を迎えた。「苦しい事多いですよ。」と笑う小谷さん。それでもいつも心の支えになっていたのは、ベーカリー会社時代に怖い先輩から言われた「小谷は粘り強いからな」という一言。「大切にしている事は、来た注文は断らないということ。オープンしてから、今まで一度だけ断った事があるんです。その1回がずっと心に残っている。せっかく“BONPAINにお願いします”と思ってお客さんは来てくれる。だからどれだけ厳しいと思っても、なんとか出来る方向にもっていくようにしています。」いつだって目の前のお客さんに誠実でありたいという心意気は、パンの原料代高騰に伴う値上げのお詫び文からもひしひしと伝わる。「世の中にはすごい人がいっぱいいて、自分はまだまだなんです。だから昨日より絶対に上手くなる、そう思って頑張る。そうしたら、そういう場面がたまにふっとあるんです。何にしても“足るを知る”ということを忘れないようにしています。」

小谷さんの話をお聞きし、「初心忘るべからず」という言葉が浮かんだ。自分にとって当たり前になった事、慣れた事に喜びを感じながら、その奇跡に感謝を忘れないようにしたい。



ボンパン パンシェルメール

【所】朝来市和田山町宮田247-1 【休】日・祝
【時】10:00~19:30 【問】079-670-2560



「BONPAIN」とはフランス語で「おいしいパン」という意味だそう。そして「VENT CIEL MEL」は「風/空/海」。子どもの名前からとったそうだ。

ボンパンには今日も、穏やかな日常の一場面がある。学校帰りの子どもがパンを買いに寄っている姿。夕方、親子が明日の朝食のパンを選んでいる姿。時には、子どもにとって“はじめてのおつかい”の舞台となることも。



フランスパン

特別な製法のため、皮は薄くパリッと、中身はモチっとした食感。



食パン

バターを使用。生地のが詰まったしっとり触感。サンドイッチにも抜群!



キャラクターパン

かわいくて、再現度の高いキャラクターは子ども達にも大人気の商品。

とにかく生地にこだわっています! イーストフード不使用、無添加の手作り生地は、実はパン屋にとっては扱いづらさも。しかし、安全に食べられことを譲るわけにはいきません!

ボンパンのこだわり

朝来市内で

- 下記のお店で購入したり食べたりできます。
- ・道の駅まほろば
- ・めぐみの郷 和田山店
- ・海鮮せんべい但馬 旬菜市場
- ・竹田街道の駅
- ・バンビーノプラス
- ・ミニいちば朱

店内で

ゆっくりお店で食べたい方には店内にEAT INコーナーもあります。カウンターでコーヒーを飲みながら、はたまたソファでくつろぎながら、パンを片手に自由な時間をお過ごしください!



ボンパンを味わう

子ども達がパンを買いに来てくれることがやっぱり嬉しいです。いつか大人になっても、あんなお店あったなって思い出してもらえたらそれでいいんです。ぜひ、おいしいパンを食べてみて下さい!



ACTiNG

朝来市で活動する

生野ルートダルジャン芸術祭
実行委員会



MORE INFO

アートに興味があるサポーター、その名も「カラミ隊」大募集中です！カラミ隊には、アーティストさんの作品作りやイベント運営のお手伝いをしていただきます！身近でアーティストさんと触れ合える機会、なかなかないです！（Facebookのメッセージで連絡してください！）

Facebook >>
www.facebook.com/ikuno.rdaf/

（左→右）
佐竹保さん／佐藤次郎さん／
和田幸司さん／加藤貴之さん

生野ルートダルジャン芸術祭ってなに？

2011年3月に初めて開催された生野ルートダルジャン芸術祭。「ルートダルジャン (Route d'argent)」とはフランス語で「銀の道」という意味。銀を産出した生野銀山にちなんだ芸術祭は来年で5回目を迎える。その発端となったのが、旧生野鉱山購買会。生野が鉱山の町として栄えた時代に、日々の暮らしと共にあった、いわゆるスーパーマーケットのような場所であり古い建物だ。全国各地にみられる産業遺産は、少し前までは使い道がない「負の遺産」と言われていた。ここ、購買会も例外ではなく、このまま放っておくわけにはいかなかった。「購買会を生かし、アートと融合することで、生野の鉱山に根ざしてきた暮らしを、「生野」自体を発信しよう」と産業遺産を残す活動を行っているNPO法人J-heritageとタッグを組み、アーティストを呼びこんだ。アーティストは「鉱山のまち生野」という一貫したテーマを持ち、作品には、そのなごりを素材として使っているものから、生野を表現しているものまで実に様々だ。また、現在、まち全体をフィールドにしている芸術祭の期間中には、鉱山社宅でのアーティストとの交流会やアート体験など、まさに日常の中にある非日常のコンテンツを組み入れた。

生野ルートダルジャン芸術祭の醍醐味

加藤さん：やっぱり一番は、人との出会いで

す！普段会えないような人、アーティストの人達って全然違う感覚をもっていて、そういう異世界の人との出会いが楽しいです。

佐竹さん：アーティストの作品作りのお手伝いができます。そこで触れるアーティストの考え方が普通とは違って面白いですし、技術も学べます。また、社宅ナイトでも、アーティストや地域の方々と交流できるのが魅力です。

佐藤さん：人が見に来てくれることで、使うだけでなく普段からその場の草刈りをしたり、整備をするようになりました。手入れをすればするほど、その場に愛着が湧いて、想いを馳せて、また何かをしたくなるんですね！

和田さん：実際にアーティストさんがきて作品を作ってもらって、これまで見てきた鉱山文化が違って見えて、新しく、かっこよく見えるんですね。この芸術祭を通して、まちの発見や気づき、人との繋がりが広がっていききました。

生野ルートダルジャン芸術祭が目指すもの

鉱山文化である生野は江戸時代から人の交流が盛んな地域であり、幕府が管理していたことから、その時代に大きな影響を与えてきた地域でもある。だからこそ、今の時代においても、芸術祭を通し生野から鉱山同士のネットワークを広げ、アートと共に鉱山地域であったことを魅力的に後世に伝えていくバイオニアになれたらと意気込む。



WORKiNG

朝来市で営む、働く

朝来市社会福祉協議会

人生の全てが繋がっているからこそ

一人一人にぬくもりを

一 小田垣さん

（小規模多機能施設ひばり 施設長／50代）

介護という仕事に就いて23年。もともと、おじいちゃんやおばあちゃんが大好きだった小田垣さんがこの仕事を始めたのは、家族の介護を経験したから。当時は、家に帰って家族の介護をし、仕事ではヘルパーといった違った立場で、日々介護に携わっていた。そんな小田垣さんだからこそ、今では介護する家族の想いと、現場で働く人の立ち位置を理解している。寄り添う事が出来る。本人だけでなく、その家族を元気づけることを忘れない。従業員に対しては、第一に家庭を大切にできるよう、配慮と声掛けを大切にしている。「介護職というのは、“死”と隣り合わせであり、人生に関わる事が出来る仕事です。そして、その人の生きてきた物語を聞くことができる。なかには戦争を経験されている方もいます。そういった“人生がさける”というのは素晴らしい事だと思います。」

笑顔の連鎖で共に歩む

一 井田さん

（宅老所えんや 介護福祉士／40代）

「中学生の時夏休みボランティアで、ヘルパーさんと一人暮らしのおじいちゃんの家の掃除に行くと、その方がすごく喜んでくれました。今思い返すと、介護職に就いた一番初めのきっかけだったかも。」と話す井田さん。時を経て、自身のおじいちゃんが認知症になり、家庭内の生活リズムなどが変わっていくことに気付いた。そこから、社会福祉主事、そして介護福祉士の資格を取った。今や、職場である“えんや”は井田さんにとって、利用者との介護職という垣根を越えて、みんなで集う憩いの場という感覚。「介護職は毎年変化する業界なので、毎回勉強になります。なにより、利用者の方に優しい笑顔で“あんたらがおってよかった”と言われると、逆に元気をもらい、頑張ろう！と思うんです。自分を成長させてくれる人生の先輩です！えんや、仲間を募集しています！ぜひ気軽にお立ち寄りください！」

井田さんの一日

| | |
|-------|-----------------|
| 6:00 | 起床 |
| 7:00 | 家事 |
| 8:00 | 朝食 |
| 8:00 | 身支度・通勤 |
| 9:00 | |
| 10:00 | 仕事 |
| 11:00 | |
| 12:00 | |
| 13:00 | 昼食 |
| 14:00 | |
| 15:00 | |
| 16:00 | 家の事務仕事 |
| 16:00 | 家事 |
| 17:00 | |
| 18:00 | |
| 19:00 | 夕食 |
| 20:00 | |
| 21:00 | |
| 22:00 | 家族団らん (自由時間) |
| 23:00 | |
| 24:00 | 就寝 |



営む人
小田垣さん



働く人
井田さん

Enriching
Ikuno with art!



OOKURAIING

大蔵地域(和田山町)

おばあちゃんだって
おかあさんだって
みんな育てきた



じろはったんの心と大蔵の暮らし

大蔵地域は朝来市の北西に位置し、養父市との境目になる地域です。昔ながらの暮らしが根付いた地区、段々畑の広がる農村地帯など地区によってその様子は様々。しかしどの地区においても、大蔵はやっぱり「じろはったん」。All for one, One for all. どの人も、平等に人を思いやれる地域住民の一員であってほしい、大蔵に受け継がれてきた伝統的なテーマがあるのです。



森はなさんとじろはったん

大蔵出身である児童文学作家森はな先生の作品である「じろはったん」。戦時中の日本を背景に、知的障害を持った青年が地域の人々に温かく見守られながらも、思いやり溢れる心で人々に優しさを教えてくれる物語。大蔵の地域づくりのテーマともなっています。



但馬一の古墳と多数の山城

ここ大蔵には、但馬地方最大級である前方後円墳である池田古墳(a)が発掘されました。また大蔵の山にはたくさんの山城跡が発見されています。遙か昔から、人々が時代の荒波を越え、脈々と暮らしを営んできた地域であることが良く分かります。

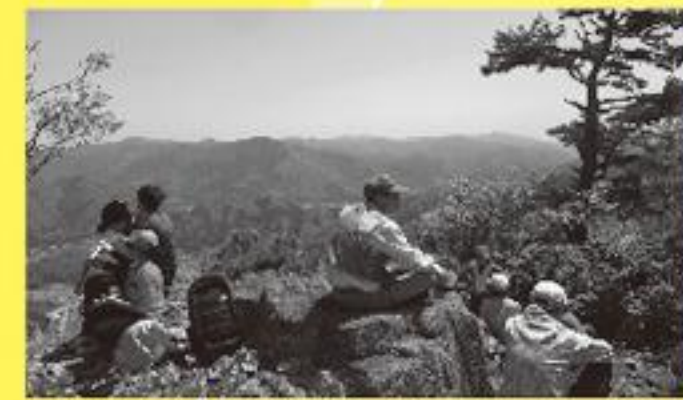
地域に愛される喫茶店
大蔵には地域住民が気軽に集う喫茶店が点在しています！あなたの行きつけはどこですか？
(左上→右下:コンバス/リュウセイデー/おもしろや/マキ)



大蔵小学校の大運動会

大蔵小学校(b)の運動会は、小学生だけでなく、お父さんお母さんや地域のおじいちゃんおばあちゃんまで総出で参加する大運動会！年に一度の地区対抗も大盛り上がり！この日から世代を超えた新たな交流が始まる、地域の大切な行事なのです！

大倉部山(c)
標高692m。大蔵の名前の由来になったのではと言われています。



地域のシンボル大倉部山

いつも変わらぬ場所とどしりと大蔵地域を見守っている大倉部山(c)。地域の方には「おくらべさん」の愛称で親しまれています。地域の人によって整備された登山道を歩き、大蔵のまちを眺めながら山頂を目指すおくらべ登山も大蔵年間行事の1つです。



じろはったん村まつり

秋も深まる10月下旬頃、2日間にわたり毎年開催される大蔵地域の文化祭であり、お祭りです。地域の方々による作品展示はもちろんのこと、区ごとのおいしい屋台や地元の子も達による充実した屋外イベントなど盛りだくさん！今年はおおくらフリーマーケットも同時開催しました！どの世代も家族みんなで楽しめるお祭りです！



AUTUMN

厄神祭

大蔵の宮内地区にある壺岡神社(d)にて、毎年1月18日に厄神祭が執り行われます。但馬随一と言われている壺岡神社の厄神祭は、250年以上の歴史がある伝統的な祭りであり、毎年各地から多くの人が参拝します。祭りで灯つ境内の火は、地域住民によって夜通し守られているそう。新たな1年の始まりに、無病息災・家内安全を願い、ぜひ足を運んでみて下さい！

WINTER

EVENT

PERSON of OOKURA

和田さん



和田さんは、大蔵で空手道場を開きながら、「STUDIO QB(e)」というトレーニングジムを営み、「身体を動かす事」全てに対応できる理論を押さえたトレーナーだ。「勝つためには根性じゃない、トレーニングで引き上げられる」という経験から、年間4500冊の本を読み、全国のジム、講師を尋ね、勉強と実践に明け暮れた。そして、POWERLINE TRAININGの松尾先生という師匠に出会った。今や和田さんを信頼し、都会からも有望な選手がトレーニングにきている。「とにかく諦めないこと。人間決まっているのは死ぬ事だけなんです。勝てないのは何が足りない、それを見つけて育てていく。勝ちたい思いがあるならば。」

STUDIO QB / TEL >> 079-672-3600 HP >> www.ononokomachi.jp

川見さん



群馬育ち、大学も就職もずっと関東だった川見さんが大蔵にきたのは、旦那さんの実家がここにあったから。大蔵に来てすぐに、地域自治協議会(f)の仕事に声がかかった。朝来のことどころか、関西に全く馴染みのない状態で始める地域の仕事にすごく不安を感じていたと言う。しかし、地域自治協議会での仕事は地域と川見さんとをすぐに結びつけ、川見さんのここでの暮らしを創っていった。「地域に根差した仕事だからこそ、色んな人と触れ合えます。顔が分かる繋がりが、世代を超えてあるというのは安心なことで、暮らしが楽しくなりますね。」

田中さん



大蔵の岡区で農業を始めて4年目の田中さん。毎日決まったリズムで仕事をするのではなく、雨の日は休みなど、天候に合わせた仕事・生活スタイルに魅力を感じ会社を辞めた。今や総面積1町3反の畑を管理し、岩津ねぎをはじめ、とうもろこしやなすびなどの栽培も行っている。「実際の雨の日だから休みということではなかったですが、農業は頑張ったら頑張った分だけ入ってくるという、身入りの面白さがあります。つまり全部自分次第なんです。自分が動かないと現状は何も動かないという、厳しさと責任が楽しさでもあります。」

高田さん



4年前、地域おこし協力隊として朝来に移住した高田さん。協力隊の任期が終了し、個人事業として鹿肉などの処理から加工・販売まで行う「但馬のジビエココ鹿」を立ち上げた。そもそも「自分の食べるものは自分で作りたい」との思いから移住を決断。この地で猟師さんとのご縁があり、お肉も自給できるんだとこの道に進むことに。現在は奥さんと二人で住宅を改装し、山の恵み多くの人に届けるため日々生業に取り組む。「地域の敬老会やお祭りで鹿肉を扱ってくれたり、地域の人が応援してくれ、温かく見守ってくれるので、頑張ろうと思います。」

大蔵地域について

面積:約16.4km²
人口:3,227人
(住民基本台帳:H30.2月末)

お問い合わせ

(大蔵地域自治協議会)
079-672-5651
Mail >> ookura186-3@asago-net.jp

与布土マーケット

与布土地域内外の農家やカフェの商品を販売するマーケット。ママさんグループの子ども服やおもちゃのリサイクルも。子ども遊びコーナーもあります。さらに、移住者との交流会を開催!

【日時】12月16日(日) 10:00~15:00
出店 10:00~13:00/
移住者交流会 13:00~15:00
【会場】旧与布土小学校
【問】079-676-3030
(与布土地域自治協議会)

朝来市内イルミネーション

【生野イルミネーションロード2018】
地域のみんなで協力して実施する恒例のイルミネーション。癒される生野の灯をご覧ください!

【日時】12月1日(土)~1月4日(金)
点灯時間 17:30~21:00
【会場】生野メインホール付近

【山東 光のプロジェクト】

冬の風物詩として但馬の東の玄関口を輝かせるイルミネーション!

【日時】12月上旬~1月17日(木)
点灯時間 17:30~22:00
【会場】朝来市役所山東庁舎、梁瀬小学校周辺

銀谷のひな祭り

鉾山町独特の風情を残す生野町口銀谷・奥銀谷地域の約150軒に、昔のお雛様などを飾ります。懐かしい町並みと合わせてゆっくりと探訪してください。さらに、今年は本物の馬車[※]が運行されますよ!

【日時】3月1日(金)~3日(日)
9:00~16:00
【場所】生野町口銀谷地域・奥銀谷地域
【問】079-679-4448
(生野まちづくり工房井筒屋)
※馬車の運行は3月3日のみ
馬車への乗車は当日先着順

あなたはまちの未来 ASAGOiNG

まちは全て、誰かの「やってみよう」からできています。
特にオープンマインドな朝来市は、「やってみよう」が多いまち。
目を凝らせば、あなたの周りにも「やってみよう」がいっぱい見つかるはず。
何かを頑張っている人を見ると、ちょっと嬉しい。
そんな人を応援できたら、もっと嬉しい。
自らやろうと思って実現できたら、そりゃもう毎日が楽しくなる。
そんなあなたの「やってみよう」を応援しています。

少子高齢化、人口減少が進むなかで、朝来市の次の10年、20年を創りあげていく若い人たちに、「このまちが好きだな」と思ってもらいたい。好きになって住み続けてもらいたい。そんな「気持ちに届く」シティプロモーションが「あなたはまちの未来 ASAGOiNG」。他の誰でもない市民一人ひとり、「あなた」が主役となって朝来市の魅力を届けるシティプロモーションを目指しています。



ACCESS

自動車をご利用の場合

大阪・京都より約2時間
神戸より約1時間30分

鉄道をご利用の場合

大阪・京都・神戸より
特急で約2時間

あとがき

今回の取材ではみなさんに共通した質問をさせていただきました。それは「人生のモットーはなんですか?」というもの。なんと、多くの人が、「笑顔でいること」と教えて下さったのです。落ち込んでも、辛くても、自分の気持ちは自分で切り替えていく、その皆さんの心意気がとっても勉強になる取材でした!

発行日:2018年12月5日

発行元:朝来市総合政策課 TEL 079-672-6110
〒669-5292 兵庫県朝来市和田山町東谷213-1

企画/編集:Team ASAGOiNG

テキスト:SHIHO

アートディレクション/デザイン:木村淳